

誰にでも使える Unix 講座

第 1 回

「習うより慣れる」

安岡孝一

root : yasuoka くん、yasuoka くん。
yasuoka : はい、何でしょう？
root : 君の ID を ginkaku に作っというからね。
yasuoka : え？
root : 君の ID を ginkaku に作ったから。
yasuoka : え？ どういう意味ですか？
root : この部屋の ginkaku という Unix マシンを、君が使えるようになったんだよ。
yasuoka : ほんとですか？ うれしいな、一度 Unix を使ってみたかったんだ。
root : これからはイヤになるほど使えるよ。
yasuoka : どうやって使うんですか？
root : ま、そうあせらずに。まずは端末の所にいこう。

(間)

root : お、運良くコンソールが空いてるな。
login: █
yasuoka : でも、何か表示されてますけど？
root : これは「今 login できます」って意味のプロンプトだよ。
yasuoka : え、login って何ですか？

```
login ユーザ ID
セッションを開始する。
```

root : うーん、ようするに「今からこの端末を誰々が使います」って宣言することかな。
yasuoka : どうしてそんな宣言が要るんですか？

root : Unix っていうのは基本的に、みんなが使うシステムだからね。他人のファイルを壊したりしないように、どの端末に誰が入ってるのかをはっきりさせておくんだ。
yasuoka : へーえ。で、どうやって宣言するんですか？
root : みんなそれぞれ決められたユーザ ID があって、それを使うんだ。君の ID はそのまま yasuoka にしといたから、ここに yasuoka と打ってごらん。
yasuoka : はい。yasuoka っと。
login: yasuoka █
これでいいですか？
root : うん。次にリターンキーを押す。
yasuoka : はい。
login: yasuoka (ぼこ)
MoonOS 1.1 (GINKAKU) Mon Jan 1 11:11:11 GMT+0900 1990

Practice makes perfect.

% █
あ、何か出た。
root : これは login した時に「いらっしやいませ」と出るメッセージで、motd っていうんだ。
yasuoka : 次はどうすればいいんですか？
root : これでもう login できてるから、あとは Unix のコマンドを何でも使えるよ。
yasuoka : でも Unix のコマンドなんて、全然知らないんですけど。
root : そうか。じゃ最初は、パスワードの設定からやるか。
yasuoka : パスワードって？
root : login したのが本当に yasuoka くんなのかどうか、確認するための合い言葉だよ。ま、口で説明するより、実際にやった方が早いな。passwd 打ってくれるかい？

```
passwd
パスワードの設定および変更をおこなう。
```

```
yasuoka : passwd ですか？
          % passwd█
root : そう、そしてリターン。
yasuoka : はい。
          % passwd (ぼこ)
          Changing password for yasuoka on ginkaku.
          New password:█
root : 何か 6 文字から 8 文字くらいの、適当な文字列を決めて。
yasuoka : うーん、じゃ koichi にしようかな。
root : そんな誰にでもわかるようなのじゃ駄目だよ。それに、パスワードは他人
      には黙っとかなきゃ。
yasuoka : そうですか。じゃ、ちょっと考えさせて下さい。
          (間)
yasuoka : 決めました。
root : じゃ、ここにそれを打って。
yasuoka : え、それじゃ root さんに見えちゃうじゃないですか。
root : 大丈夫。
yasuoka : そうですかぁ？
          New password:█(ばたばたばたばたばたばた)
          あ、ほんとだ。画面に出ない。
root : それからリターン。
yasuoka : はい。
          New password: (ぼこ)
          Retype new password:█
root : 次にそれをもう一度打って。
yasuoka : はい。
          Retype new password:█(ばたばたばたばたばたばた)
root : またリターン。
yasuoka : リターンっと。
```

```
          Retype new password: (ぼこ)
          Mismatch - password unchanged.
          % █
root : んー、どうやら 2 回目に打ち間違っただけだね。
yasuoka : え、そうですか。
root : 仕方ない。もう一度。
yasuoka : 大変だなあ。
          % passwd (ぼこ)
          Changing password for yasuoka on ginkaku.
          New password: (ばたばたばたばたばたばたぼこ)
          Retype new password: (ばたばたばたばたばたばたぼこ)
          % █
root : 今度はうまくいったようだね。じゃあ、一旦 logout してくれるかい？
yasuoka : え、logout って？
```

```
logout
セッションを終了する。
```

```
root : login の反対で、「端末を手放します」って意味かな。
yasuoka : え、もう終わりなんですか？
root : いやいや、パスワードがちゃんと設定されたかどうか試すだけだよ。
yasuoka : わかりました。
          % logout (ぼこ)
          login: █
          次は？
root : login しないおすわけだから、さっきやった通りユーザ ID を打つ。
yasuoka : はい。
          login: yasuoka (ぼこ)
          Password:█
          あれ？ 何か変なのが出てきましたよ。
root : うん、そこでさっき設定したパスワードを打つんだ。
yasuoka : はい。
```

```

    Password: (ばたばたばたばたばたばた)
root : そしてリターン。
yasuoka : リターン。
    Password: (ぼこ)
    Login incorrect
    login:
root : おや？ パスワードを間違ったみたいだね。もう一度ユーザ ID から。
yasuoka : 間違ったかなあ？
    login: yasuoka (ぼこ)
    Password:
root : もう一度パスワードを打ってリターン。
yasuoka : はい。
    Password: (ばたばたばたばたばたばたばたぼこ)
    Last login: Fri Feb 23 16:11:24 on console
    MoonOS 1.1 (GINKAKU) Mon Jan 1 11:11:11 GMT+0900 1990
    #####

                Practice makes perfect.

    #####
    %
root : よし、成功。
yasuoka : めんどくさいんですね。
root : でもこれで、パスワードを知ってる yasuoka くん以外は、yasuoka っていうユーザ ID を使えなくなったわけだ。
yasuoka : そうか。やった。
root : パスワードは絶対他人に言っちゃいけないよ。
yasuoka : もしバレちゃった時はどうするんですか？
root : そういう時には、passwd でパスワードを変更すること。それも出来るだけ早くね。
yasuoka : あ、パスワードは変更できるんですか。さっきのパスワード、どうも打ちにくいんで変更したいんですけど。
root : じゃ、やってみようか。

```

```

yasuoka : はい。
    % passwd (ぼこ)
    Changing password for yasuoka on ginkaku.
    Old password:
root : そこで、前のパスワードを打つ。
yasuoka : はい。
    Old password: (ばたばたばたばたばたばたばたぼこ)
    New password:
root : 次に新しいパスワードを打つ。
yasuoka : 新しいパスワードっと。
    New password: (ばたばたばたばたばたばたぼこ)
    Retype new password:
root : もう一度。
yasuoka : もう一度。
    Retype new password: (ばたばたばたばたばたばたぼこ)
    %
root : よし OK。これで新しいパスワードになった。
yasuoka : はーよかった。じゃ、Unix の他のコマンドも教えて下さい。
root : うん、そうだな。次は ls でもやってみるか。

```

```

ls ディレクトリ名
    ディレクトリ内のファイルの一覧を出力する。BSD では段組で、System
    V では縦に出力される。
ls -l ディレクトリ名
    BSD のみ。ディレクトリ内のファイルの一覧を縦に出力する。
ls -C ディレクトリ名
    ディレクトリ内のファイルの一覧を段組で出力する。
ls -a ディレクトリ名
    ディレクトリ内のファイルの完全な一覧を出力する。BSD では段組で、
    System V では縦に出力される。
いずれもディレクトリ名を省略した場合は、カレントディレクトリ内のファイルの
    一覧を出力する。

```

yasuoka : ls って？

```
root : ファイルの一覧表を表示するんだよ。
yasuoka : へーえ。
          % ls (ぼこ)
          % █
          何も起こりませんが？
root : そこには普通のファイルがないんだな。他のディレクトリへ行ってみようか。
yasuoka : ディレクトリって何ですか？
root : ファイルを入れておく箱みたいなもんだよ。ちょっと pwd って打ってみてごらん。
```

```
pwd
カレントディレクトリを出力する。
```

```
yasuoka : はい。
          % pwd (ぼこ)
          /home/yasuoka
          % █
root : /home/yasuoka って表示されたる。それは今、君が home っていう箱の中の yasuoka っていう箱にいるって意味だよ。
yasuoka : 他の箱に行くにはどうするんですか？
root : cd だね。
```

```
cd ディレクトリ名
カレントディレクトリを指定されたディレクトリに変更する。ディレクトリ名を省略した場合には、ホームディレクトリが指定されたものとみなす。
```

```
yasuoka : ホームディレクトリって何ですか？
root : login したときに最初にいるディレクトリのことだよ。ま、それはおいといて、試しに home っていう箱の中の takahash っていう箱に行ってみようか。cd /home/takahash って打ってごらん。
yasuoka : はい。
          % cd /home/takahash (ぼこ)
          % █
          何も起こりませんが？
```

```
root : いや、起こってるんだ。ls してごらん。
yasuoka : はい。
          % ls (ぼこ)
          Mail    News    bin
          % █
          あ、さっきは何もなかったのに。
root : 今は home っていう箱の中の takahash っていう箱にいるからね。その箱の中にあるファイルの一覧表が ls で表示されるんだ。
yasuoka : さっきの箱に戻るにはどうしたらいいんですか？
root : cd /home/yasuoka で移動すればいい。
yasuoka : あ、そうか。
          % cd /home/yasuoka (ぼこ)
          % ls (ぼこ)
          % █
          おもしろーい。
root : cd /home っていうのはどうだい？
yasuoka : え、home っていう箱に移るんですか？
          % cd /home (ぼこ)
          % ls (ぼこ)
          hama          kunishi          ochi          takenaga
          fujii          matukawa          takahash          yasuoka
          % █
          あれ、yasuoka がある。
root : それが /home/yasuoka だよ。
yasuoka : え？
root : 今、home っていう箱にいるわけだろ？
yasuoka : はい。
root : だから ls すると home っていう箱の中にあるものが見える。
yasuoka : あ、/home/yasuoka っていうのは、home っていう箱の中にある yasuoka っていう箱でしたね。だから home っていう箱に行けば yasuoka が見えるのか。
root : そこでさらに cd yasuoka としてごらん。
yasuoka : / は要らないんですか？
root : うん。
```

```
yasuoka : やってみます。
          % cd yasuoka (ぼこ)
          % █

root :   そこで pwd としてごらん。
yasuoka : はい。
          % pwd (ぼこ)
          /home/yasuoka
          % █

root :   ちゃんと /home/yasuoka に行けただろ？
yasuoka : ええ。
root :   あと、.. っていうのが、一つ外の箱を意味するんだよ。
yasuoka : .. ですか。
          % cd .. (ぼこ)
          % ls (ぼこ)
          hama          kunishi          ochi          takenaga
          fujii         matukawa         takahash     yasuoka
          % pwd (ぼこ)
          /home
          % █

          もう一つ外に出たらどうなります？
root :   やってみてごらん。
yasuoka : 大丈夫かなあ。
          % cd .. (ぼこ)
          % ls (ぼこ)
          bin          etc          lost+found    tmp
          boot         home        mnt           usr
          dev          lib         sys           vmunix
          % pwd (ぼこ)
          /
          % █

root :   そこが一番外だ。それより外には出られない。
yasuoka : へーえ。他の箱の中に入っていてもいいですか？
root :   うん、かまわないよ。
```

```
yasuoka :   じゃ。
            % cd vmunix (ぼこ)
            vmunix: Not a directory
            % █

            あれ、何か変なのが出た。
root :   vmunix はディレクトリじゃないからね。中には入っていけないんだ。file
        vmunix としてごらん。
```

file ファイル名 ファイルがどのようなタイプのものか出力する。

```
yasuoka :   file vmunix ですか？
            % file vmunix (ぼこ)
            vmunix: pure executable not stripped
            % █

root :   それから file home。
yasuoka : file home っと。
            % file home (ぼこ)
            home: directory
            % █

root :   そこで directory と表示されたものだけ、中に入れていけるんだ。
yasuoka : わかりました。
            % file mnt (ぼこ)
            mnt: directory
            % cd mnt (ぼこ)
            % pwd (ぼこ)
            /mnt
            % █

root :   あっと、もうこんな時間だ。そろそろ僕は帰るけど、まだ頑張るかい？
yasuoka : はい。
root :   ま、習うより慣れろだからね。それから、帰るときには logout を忘れずにね。
```